



日本共産党市会議員

2016年02月25日

庄本けんじ

携帯 090-6665-9401

議員控え室 0798-35-3368

活動ニュース

市が自由に使える予算2億円増 総額1126.6億円

格差と貧困広がる！！個人市民税の収入は4億4200万円減
市税収入全体では3160万円増

2016年度予算総計(単位億円)			
	2016年度	2015年度	前年比
一般会計	1,747.04	1,749.42	-2.37
特別会計	943.83	911.08	32.74
企業会計	464.90	450.64	14.25
総計	3,155.78	3,111.16	44.62

一般財源内訳(単位億円)			
	2016年度	2015年度	前年比
市税	845.19	844.88	0.31
譲与税・交付金	105.47	96.68	8.79
地方交付税	53.88	45.02	8.86
臨時財政対策債	60.56	66.00	-5.44
その他	7.60	7.43	0.16
財政基金取崩し	43.89	44.57	-0.68
減債基金取崩し	10.00	20.00	-10.00
総額	1,126.60	1,124.58	2.01

来年度の予算規模は、一般会計で1747億円、特別会計944億円と企業会計465億円を合わせると総額約3156億円となります。

そのうち、西宮市が自由に使える予算は前年より2億円増え、総額約1,127億円となります。

一般財源の約75%を占める市税収入は、前年比で3160万円増えますが、アベノミクスの悪影響を受け、個人税収は4億4200万円減ります。これは、この西宮市でも、格差と貧困が広がっていることをしめしています。

市は、この生活実態を直視し、貧困大国からの脱却をはかるため、国民健康保険料の引き下げ、保育料の引き下げ、介護保険料の引き下げなど、生活応援の施策を思い切って進める必要があります。また、要望が強い学校のトイレの洋式化など、教育環境の改善にも思い切った予算の配分をおこなうべきです。

子どもの貧困根絶まったなし！ 早期発見、早期対応が決定的に重要

2016年度の西宮の新規事業として、「子供の貧困対策調査・体制整備計画策定事業」が実施されます。これは、国の方針にもとづいて実施されるものです。大事なことは、西宮市が、西宮でも広がる貧困と格差の実態を直視し、貧困根絶の目標を持ってことにあたることです。とりわけ、子どもの貧困根絶は、まったなしです。



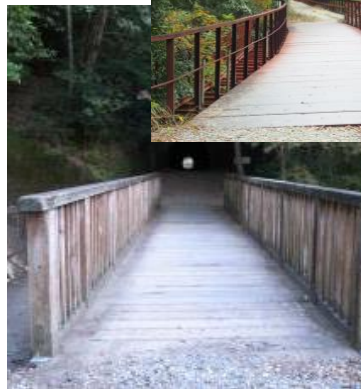
J R 福知山線廃線跡 ハイキングコース一般開放

長年の要求がやっと実現します

人気のハイキングコース。武庫川渓谷、J R 福知山線廃線敷き。いま、通行禁止になっているところです。それでも、多くの人を訪れる人気の場所。

長年、ここをハイキングコースとして開放してほしいという要望が市に寄せられていました。日本共産党の西宮市会議員団も、この願い実現のために、たびたび議会でもとりあげ、一般解放するよう要求してきました。

今般、秋の紅葉時期には整備を完了させ、通行禁止の規制を緩和し、一般開放されることとなります。長年要求してきたことが実現されることになりました。



水道料金 基本水量制は見直し 水道料金は値上げ

いまの西宮市の水道料金は、月当たり10 m³までは、使っても使わなくても同じ料金(基本料金=1,040円)を払う仕組みになっています。これを新年度から見直し、基本料金を955円に引き下げ、そのうえで、使った量に応じて料金を徴収する従量制に変更されます。その結果、6 m³までの水を使用する約18%の世帯は料金が値下げになります。それを超える水量を使用する世帯は、水道料金が値上げになります。

節水機器等の普及で水需要が下がり資金不足になるからとの理由です。平均6.8%(平均的な世帯103円)の値上げとなります。



難病患者さんへの 見舞金を廃止

新年度予算案で、難病患者見舞金を廃止が提案されます。市は、難病法の施行により医療費助成の対象となる難病難病が56から306疾病に広がり、負担が軽減されると、廃止の理由を説明していますが、医療費は市民税非課税世帯では、無料から2割に負担が増えることとなります。原因不明の難病で苦しむ皆さんへの、わずか年間2万円の見舞金は継続すべきです。

